



HG
U.C. HARD GRAPH

1/144 HGUC RX-79(G) 陸戦型ガンダム地上戦セット RX-79(G) GUNDAM THE GROUND WAR SET UNIVERSAL CENTURY 0079 "ONE YEAR WAR"

**BAN
DAI**

0159945

BANDAI 2009 MADE IN JAPAN © 創通・サンライズ

機動戦士ガンダム MSイグルー2 重力戦線

U.C.0079.

月の裏側にあるスペースコロニー群、サイド3はジオン公国を名乗り、地球連邦に独立戦争を仕掛けた。これは後に「一年戦争」と呼ばれることとなる。同年3月、ジオン軍は地球各地に電撃的な降下作戦を開始。新兵器モビルスーツ・ザクの圧倒的な優位を背景に、地球上の版図を拡げていった…。

第3巻 オデッサ鉄の嵐!

U.C.0079.11月。

月の裏側に位置するコロニー群からなるジオン公国は、天然資源の不足ゆえ、国力に乏しい。ジオン軍はオデッサ地方の鉱山群を占領・開発することで、人類初の宇宙戦争の生命線とした。そしてそれに抗うべく、連邦軍は劣勢だった戦況を挽回する大作戦として、オデッサの鉱山群奪回を掲げたのである。

アリーヌ・ネイズン技術中尉は、恋人のスパイ容疑により自らも刑務所に収監されていた。だがオデッサ作戦の前に彼女は、自らが開発に携った陸戦強襲型ガンタンクに乗り、戦場に参加するよう命じられる。かつての恋人への怒り、進化の道を閉ざされたガンタンクの運命。宇宙世紀0079年11月、人々の想いを飲み込んで「オデッサ作戦」が始動する!



RX-79[G] 陸戦型ガンダム

RX-79[G] GUNDAM E.F.S.F. FIRST PRODUCTION MODEL

MODEL NUMBER : RX-79[G]
HEAD HEIGHT : 18.0m
WEIGHT : 52.8t
TOTAL WEIGHT : 73.0t
GENERATOR OUT PUT : 1350kw
MATERIAL : LUNA-TITANIUM ALLOY
FIXED ARMAMENTS :
CHEST VULCAN GUN
CHEST MULTI LAUNCHER
BEAM SABER
ARMAMENTS :
100mm MACHINEGUN
180mm CANNON



RX-79[G]いわゆる“陸戦型ガンダム”は、MS量産計画最初期において開発された機体のうちのひとつである。当初から空間戦闘用の装備をオミットした設計が施されているため、機体は軽量化され、少なくとも“重力下”におけるスペックはRX-78に匹敵すると言われるほど高性能な機体となっている。陸戦型ガンダムは、トータルで20機程が生産され、主に地球上での激戦区のひとつである東南アジア方面軍の機械化大隊に配備された。この機体の装甲や内装部品の多くは、ガンダムの予備パーツから流用、複製されていたため、純正品のストックも充分ではなかった。かくして、各基地では他の機体や装備などの部品を使って応急処置を施すことが多く、結果、カスタムタイプの機体が各地で誕生することとなった。

RX-79[G] 陸戦型ガンダム 組立図

1

(向きに注意)

×2 (2個作る)

〈上から見た図〉

PC A

A 25

PC K

A 22

PC O

A 21

A 26

※シール①は段差に合わせて貼ってください。

裏返します。

B 29

B 32

※きれいに切り取ります。

2

D 25

D 28

D 26

裏返します。

A 19

A 18

A 20

(シール)

A 1

A 23 (両側取り付ける)

3

(シール)

1

2

A 31

※きれいに切り取ります。

4

B 23

B 22

A 33 (シール)

※奥までしっかりと、はめ込みます。

裏返します。

※切り取らないように注意してください。

A 42

A 2

B 31

B 30

B 24

(反対側に取り付ける)

5

D 38

D 35・D 39

D 37

D 36

E 18

(向きに注意)

6

A 16

A 9

A 8

A 15

A 12

7

(向きに注意)

A 6

A 24

※奥までしっかりと、はめ込みます。

A 10・A 11

A 7

A 6

A 14

A 13

〈下から見た図〉

8

E 17

A 4

PC N

9

8

D 40

D 18

A 17

D 41

10

(先に組む)

PC E

E 7

E 9

E 4

E 3

11

(向きに注意)

D 21

D 12

D 23

D 13

(各パーツの向きに注意)

(先に組む)

B 26

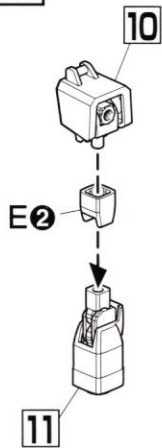
B 28

(向きに注意)

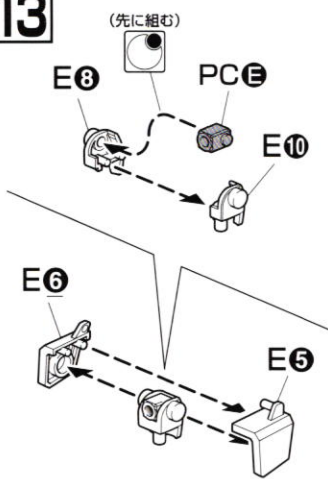
PC H

(先に組む)

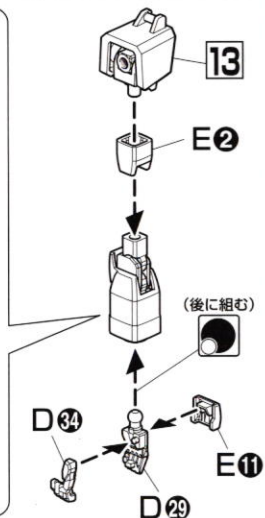
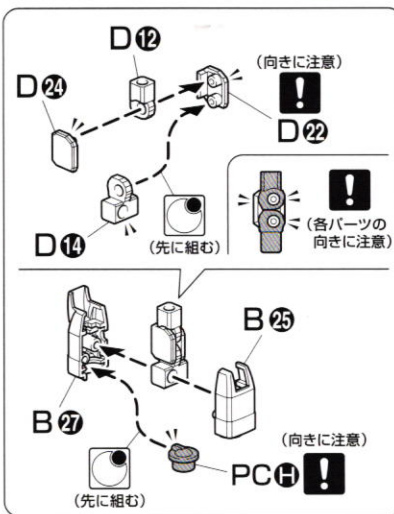
12



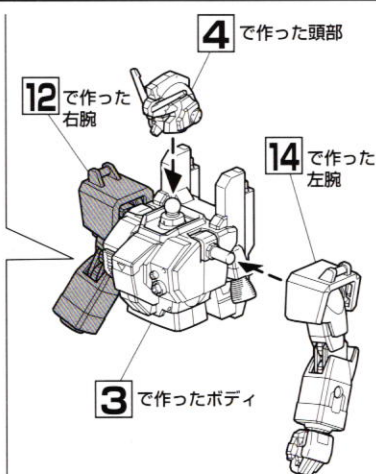
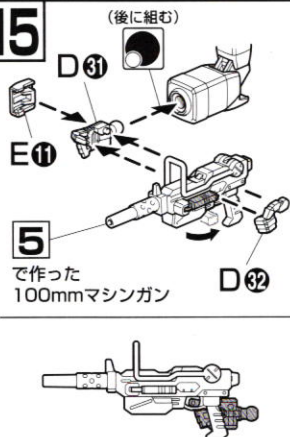
13



14

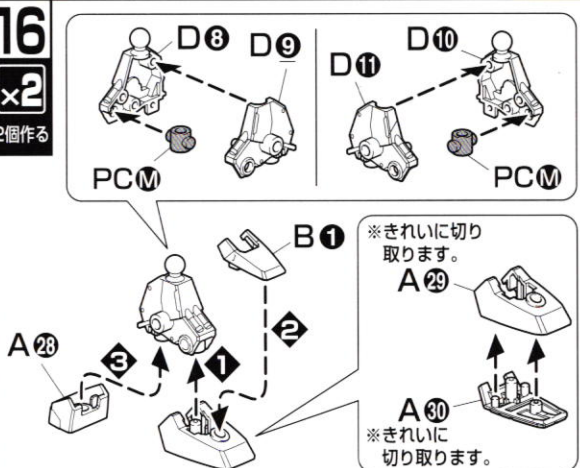


15

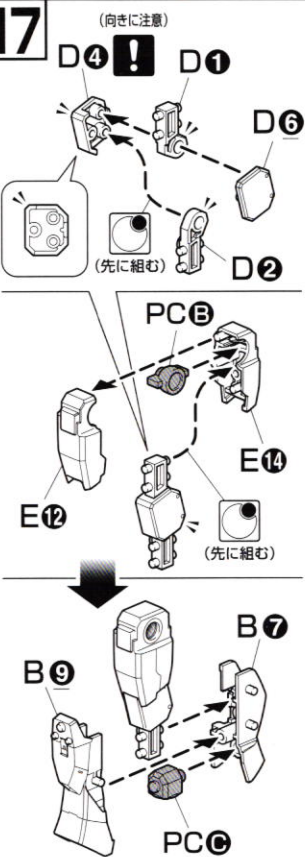


16

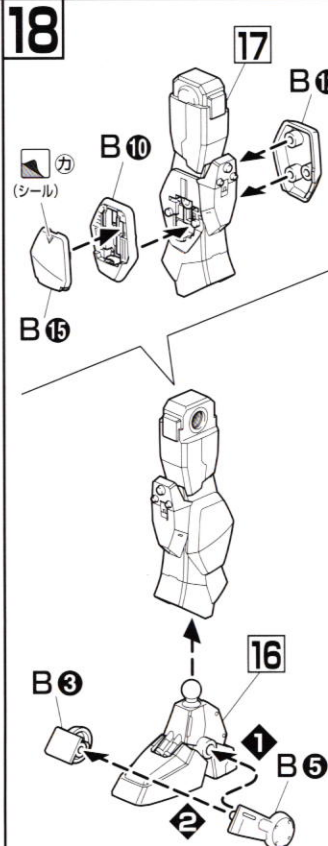
×2
2個作る



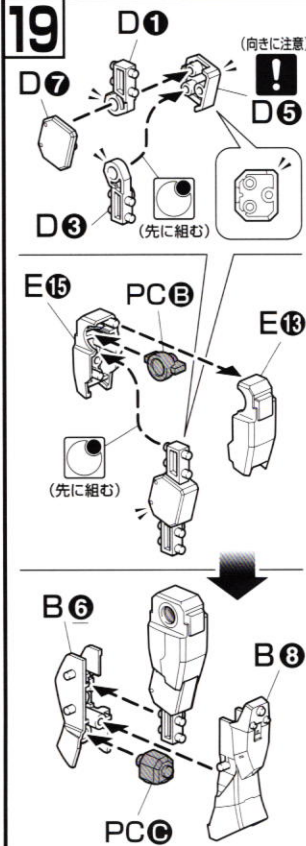
17



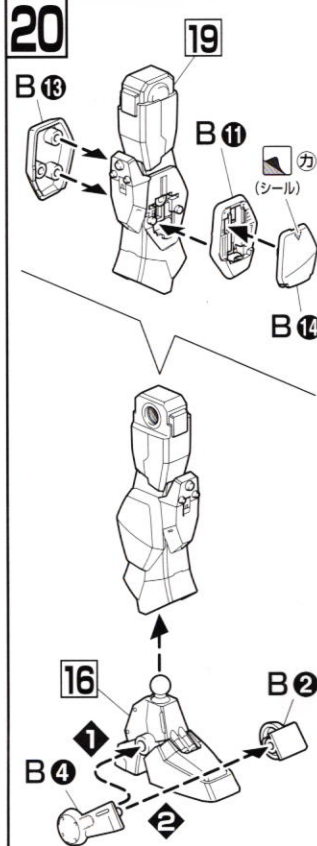
18

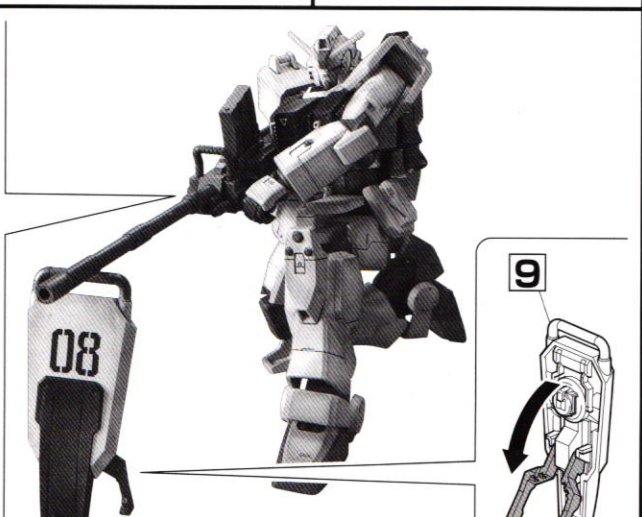
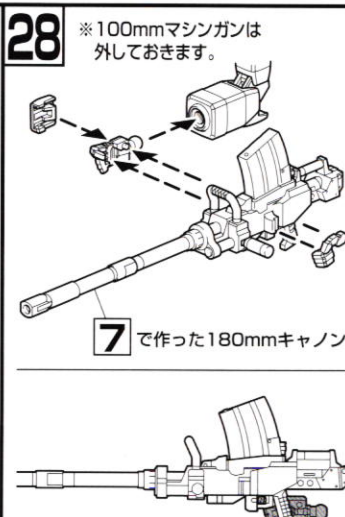
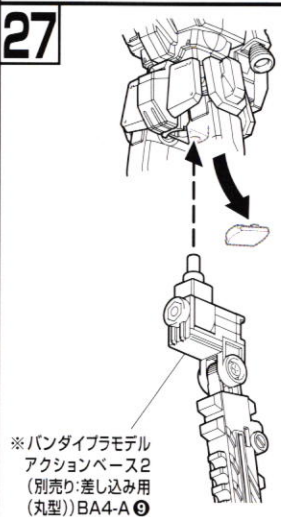
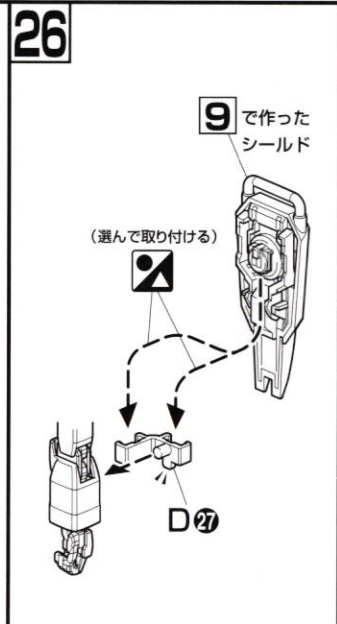
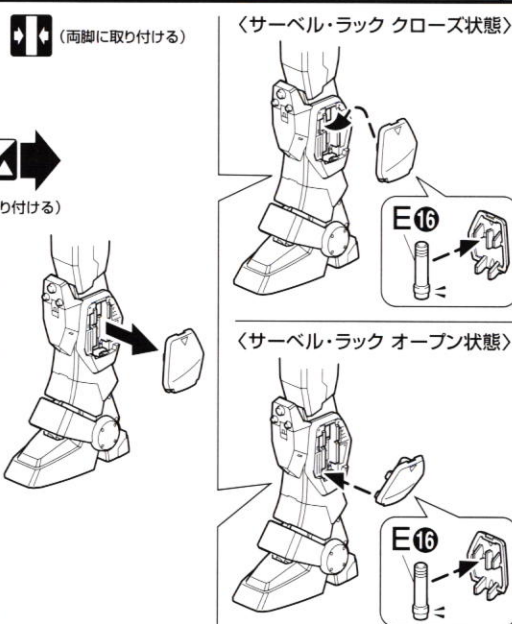
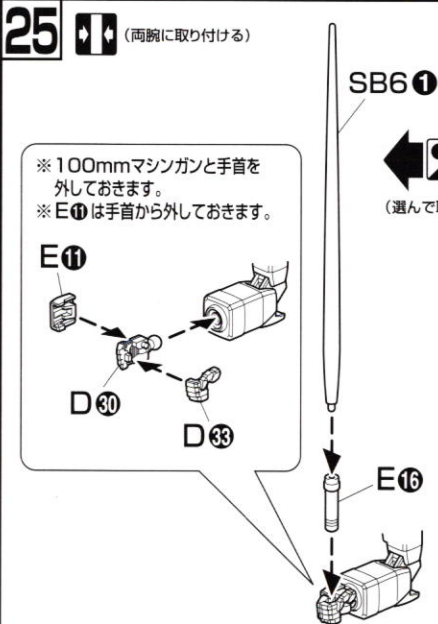
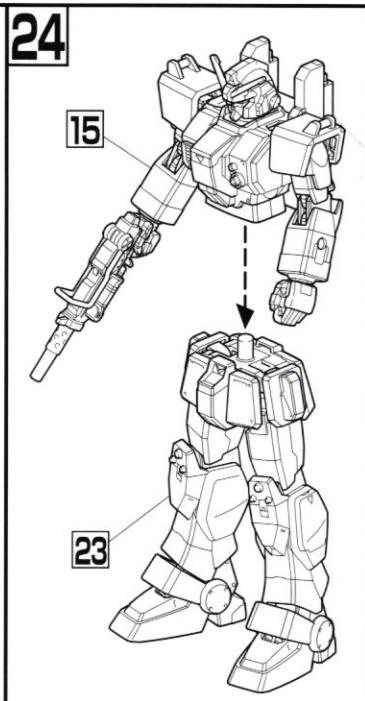
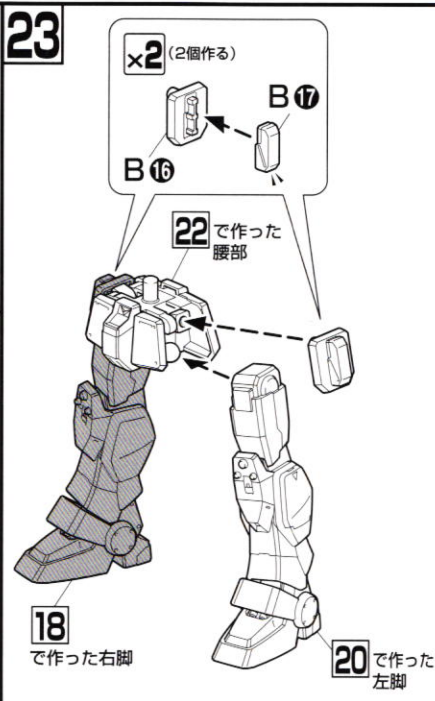
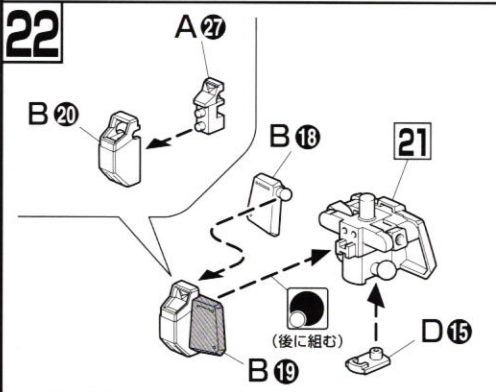
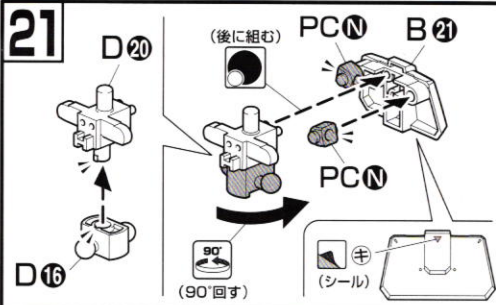


19

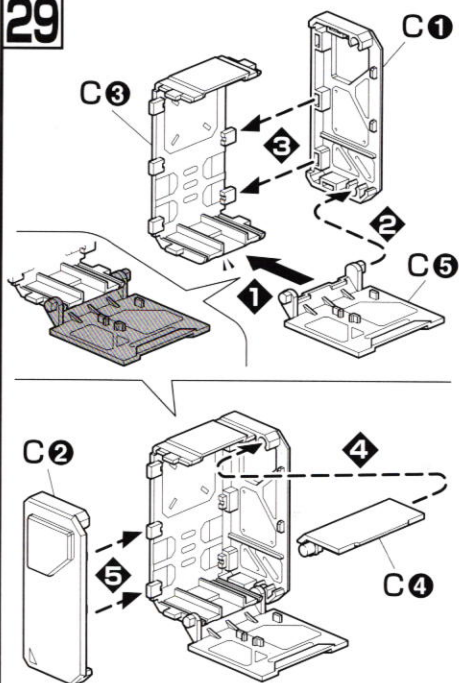


20



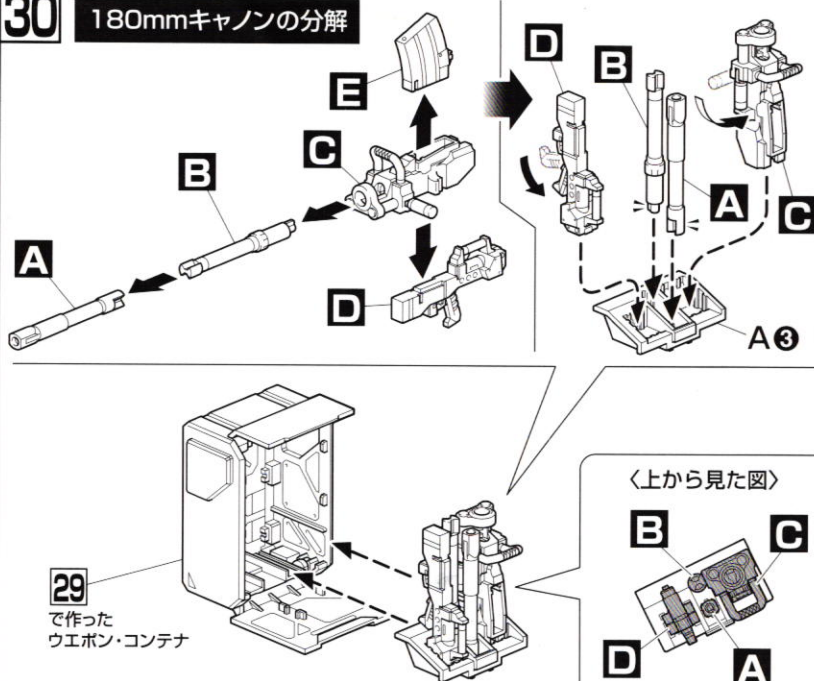


29

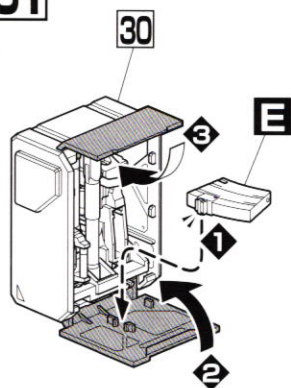


30

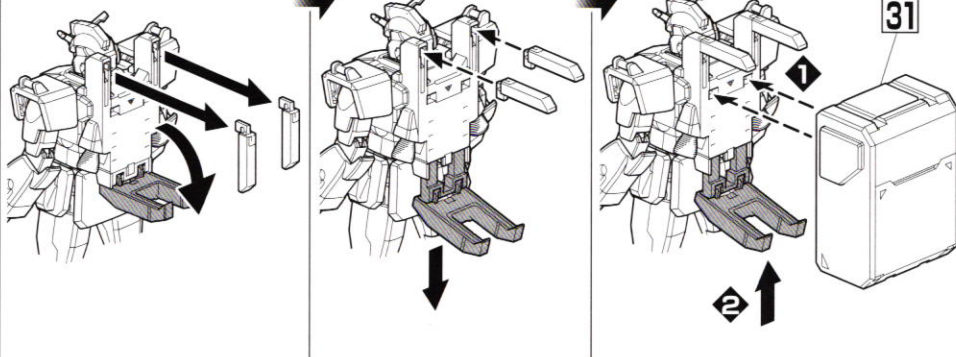
180mmキャノンの分解



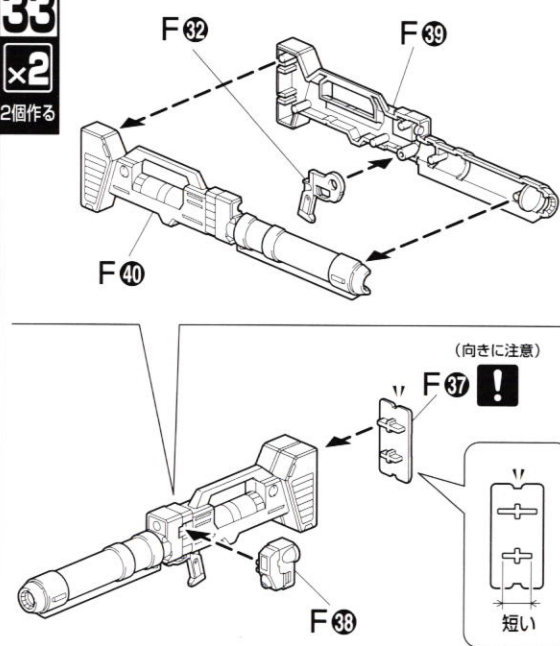
31



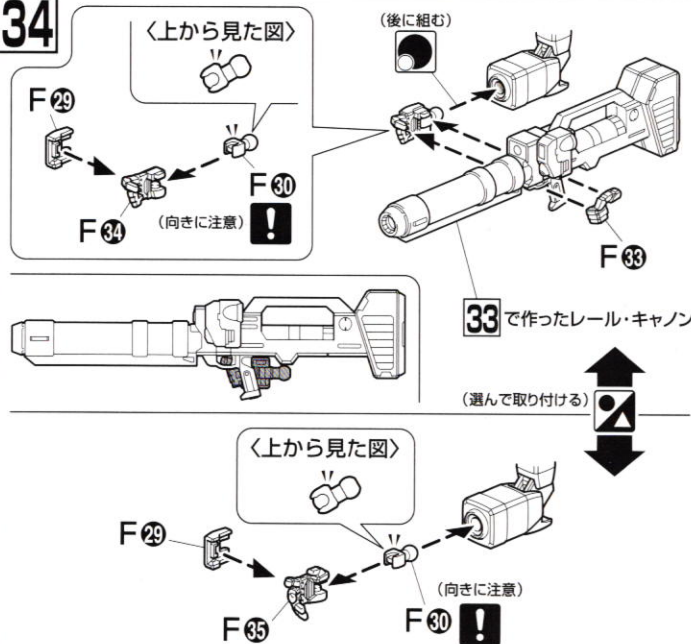
32



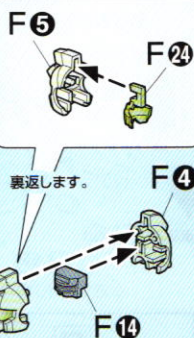
33

×2
2個作る

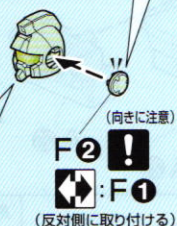
34



35

×2
2個作る

<裏から見た図>



ジム頭装着状態の再現

35で作ったジムヘッド



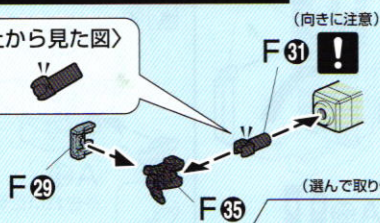
※陸戦型ガンダムの頭部は外しておきます。



RGM-79[G] ジムのバージョンアップ

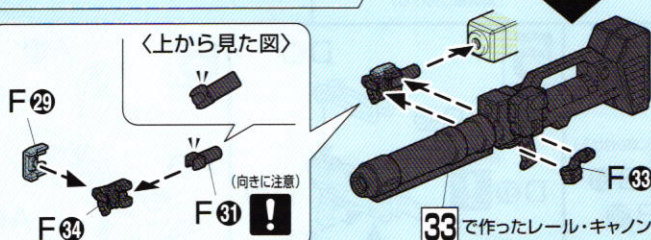
※HG第08MS小队 RGM-79[G]
ジム(別売り)が必要です。

<上から見た図>



(選んで取り付ける)

<上から見た図>

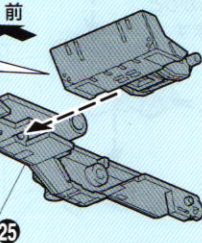
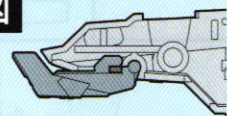
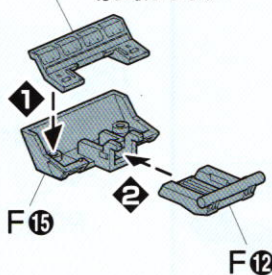


33で作ったレール・キャノン

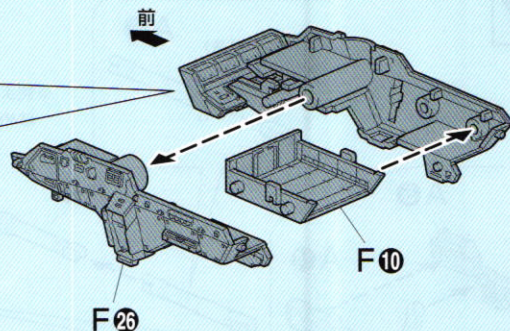
35で作った
ジムヘッド

M353A4 ブラッドハウンド 組立図

1

×2
2個作るF16 ※きれいに
切り取ります。

F25



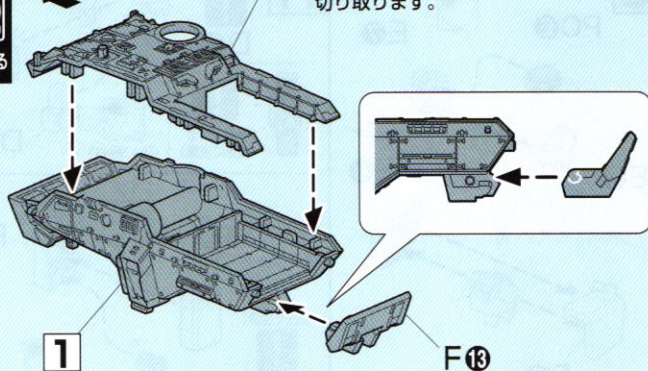
F26

F10

2

×2
2個作る

前

F3 ※きれいに
切り取ります。

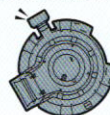
1

F13

3

×2
2個作る

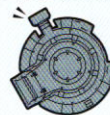
<上から見た図>



(向きに注意)

F21

<上から見た図>



(向きに注意)

F19

F20

F18

F17

前



※写真はイメージです。

MS戦闘支援車輛M353A4ブラッドハウンド

M353A4

E.F.G.F. M353A4 BLOOD HOUND



型式番号: M353A4

全長: 9.4m / 全高: 3.3m / 全幅: 6.3m

MSに随伴可能な不整地走破性と走行性能を持つホバー移動が採用された戦闘支援車輛。アンダーグラウンド・ソナーを装備し、ミノフスキー粒子の影響下で音紋による索敵や哨戒、また支援物資の輸送を行うホバートラックとして活躍した。

荷台:

車体後部は荷台となっており、歩兵用携行火器や、予備人員を積載することが可能。部隊指揮官用車輛は、通信能力を強化するレドームを装備する。



20mmチェーンガン:

車体上部のターレットに装備された防衛用の武装。ガンナーが手動で操作を行う。対軽装甲用の徹甲弾と、対人・対空用の榴弾を切り替えて使用することができた。



地球連邦軍一般兵

アンダーグラウンド・ソナー:

地中にソナーを埋め込み、周囲の振動を感知するパッシブ・ソナー。使用時には、車体を固定し、ソナー・ポッドを火薬によって地面に撃ち込む。



※写真はイメージです。



フロント

リア

アウトリガー:

アウトリガーは車体を固定するアームで、アンダーグラウンド・ソナーを用いる際に使用する。



ホバー・ユニット:

車体底部にホバーユニットを4基備える。湿地帯や水上等、多様な地形に対応可能で、MSの進出速度に追従できる走破性を持つ。

RX-79[G] GUNDAM

E.F.S.F. FIRST PRODUCTION MOBILE SUIT

型式番号: RX-79[G]

頭頂高: 18.0m

本体重量: 52.8t/全備重量: 73.0t

ジェネレーター出力: 1350kw

装甲材質: ルナ・チタニウム合金

固定武装: 胸部バルカン砲

胸部マルチランチャー

ビーム・サーベル

武装: 100mmマシンガン

180mmキャノン



180mmキャノン:

カートリッジ装填式の実体弾を使用する大型火器。基本的には対MS戦闘用の成形炸薬弾を使用するが、徹甲弾やナバーム弾なども射出可能。



ニー・アーマー:

膝関節部の保護のためにアーマーが、さらに陸戦、白兵時の戦闘力強化および射撃時の姿勢安定のためスパイクが装備されている。



シールド:

腕部のウェポンラッチに装着する防御用装備。可動ジョイントでポジションを変えて近接戦闘用にも使用できるほか、銃架としても使える。安定性を向上させるためバイポッド(二脚架)を増設したものもある。



※写真はイメージです。



レール・キャノン:

リニア・レールを用いて金属の弾丸を射出するため、反動が通常の火薬式のものに比べ少ない。

ビーム・サーベル:

RX-78や通常型のGMとは異なり脚部に装備されている。連邦製MSの一般的な兵装だが、各種のデバイスはカスタマイズされている。

胸部バルカン砲:

口径12.7mmの対歩兵用旋回式バルカン砲。既存の銃器の機関部を採用している。



100mmマシンガン:

地球連邦軍のMSの標準的な装備。威力の割りに小型であるため扱いやすく、特に地上に配備された部隊に多く支給されている。



マガジン・ラック:

左右のサイド・アーマーに携行する100mmマシンガン用のマガジン。装弾数は48発。



サーベル・ラック:

もともとコ・ジェネレータやバーニアユニットなどが収められていた部位に大容量コンデンサーとエネルギーチャージシステムを内装。塵埃の混入しにくい構造を採用している。



ジムヘッド:

交換部品の不足に悩まされる前線において、RGM-79[G]の頭部を流用した現地改修機。僚機からは「ジムヘッド」と呼ばれた。

コンテナ:

補給線の伸び切った前線での作戦行動を想定した予備兵装。火器などの武装のみならず、各種の物資をガンダム本体が携行することができる。

